

認定特定非営利活動法人

2018年 9月号

〒520-0815

大津市膳所1丁目10-4

TEL/FAX : 077-521-3603

メール: yomawarinokai@gmail.com

http://otsu-yomawarinokai.org/

大津夜まわりの会ニュース

2018 夏休みひまわりの家

♥ 今年も8回、笑顔が満開!

♥ 友だちいっぱい
しっかり勉強
思い出たっぷり



学習機会の保障

午前中は学習、昼食を挟んで午後は特別活動におやつ・お話しタイム、日記という日課。毎回、上級生と下級生が同じ班に入ってさまざまな係を担当し、いろんな体験・経験を積みました。ボランティアとして高校生や大学生ら33人(1日平均9人)が学習指導やお話し相手、見守り、引率などを引き受け、良き先生、良きお兄さん、お姉さん役をつとめてくれました。

参加した子どもたちには、友だちも思い出もいっぱいでき、楽しい夏休みだったことでしょう。(裏面もご覧ください)



学年の枠を超えて



貴重な体験の場

ご支援、ご協力 ありがとうございます

「2018 夏休み子どもひまわりの家」の開催実施にあたっては、滋賀県共同基金会の「平成30年度滋賀の町を良くするしくみ」助成事業として助成金をいただきました。自主財源部分は同共同基金会の「つかいみちを選べる募金」でいただいた浄財を充当しました。寄付者の皆様には、あらためて心からお礼を申し上げます。

また、特別活動の時間を担当し児童に貴重な体験をさせてくださった講師の皆様はじめ、何かとご協力いただいた方々、ボランティア先生を務めてくれた学生諸君ら、そしてこの事業を後援していただいた大津市・大津市教委、大津市社協の各位に、深く感謝いたします。

2018年夏休み子どもひまわりの家 実績

日付	①7・27(金)	②7・31(火)	③8・3(金)	④8・7(火)
参加者	児16人、ボ9人	児24、ボ9	児27、ボ8	児26、ボ11
午前	学習	学習	学習	学習
午後	こども介護教室『おじいさん、おばあさんにできること』&歯磨き指導	滋賀県国際協会、滋賀県国際交流員による『世界を知る教室』	『おもしろ美術工芸教室』(焼きペン、プラ板、折り紙、こま作り)	滋賀県庁見学(危機管理センター、議会棟など)
日付	⑤8・10(金)	⑥8・17(金)	⑦8・21(火)	⑧8・24(金)
参加者	児19、ボ11	児23、ボ8	児26、ボ10	児32、ボ10
午前	学習	学習	学習	1~4年生は学習 5,6年生は調理実習
午後	『皿回しづくり』と班別対抗『皿回し耐久レース』	『楽しい美術教室』(ひまわりの花を作って画用紙に貼り付け、絵を描く)	大学生の人形劇団による人形劇や紙芝居鑑賞	「ちんぷい」さんによる読み聞かせなど

注) 午後の特別活動後はおやつ・お話しタイムと日記 参加者の児は児童数、ボはボランティアの人数



皿回しのできばえは？



カレー、上手に作ったよ！



楽しかった人形劇

～お待ちしています～

冷蔵庫やテレビ、お米やインスタント食品、衣類やタオル、洗剤やカラーボックス、 telefonカードや切手類・・・多くの方からこれらの品をいただきました。ご家庭で不要になったり、使わなかったりする品物でも、これから居宅生活の再出発を期す人々には「ありがたい」生活必需品です。リサイクル、リユースできる物品がありましたら、ぜひご寄贈ください。まず下記にご連絡を！

電話077-521-3603

保護者へのアンケートから

・夏休み中、親のストレスがたまるなか、長時間子供を見ていただいて本当に感謝しています。夏休みに自宅で一人にさせるのは不安があるのでひまわりの家で預かっていただき、大変助かりました。家で留守番をさせるとゲームばかりになってしまいます。内容も勉強と遊びがあり、親にはとってもうれしいです。働く親にとっては行ける所があって、安価なのがありがたい。子供がとても楽しんでいました。仕事は休みにくく、一人で過ごす時間が増える中で参加させてもらうことができ、親も心に余裕が出来ました。県知事に会えた日は興奮冷めやらぬ様子で話してくれました。いろいろな体験も良い夏休みの思い出になったと思います。ありがとうございました。

・創作、鑑賞、体験などの活動がとても楽しかったようです。夏休みの工作の宿題にもできたようで、よかったです。いつも帰ってきてその日のことを話してくれる日は、ひまわりの日でした。ボランティアのお兄さん、お姉さんらにいろいろとお世話になり、いろいろな経験をさせてもらったと喜んでます。8月の最終週も実施していただければ、ありがたかったです。

ボランティアへのアンケートから

・子どもとたくさんふれあうことができ、将来教師になるという目標を再確認できた。初めてのボランティアで戸惑うこともあったが、自分なりに子どもたちと関わることでできた。特別活動は普段できない体験ができ、学年問わず仲良くなれる機会だと思いました。特別活動に少しでも身体を動かせるものがあれば、もっといいかなと思いました。暴言が多いのが気になった。「暴力禁止、暴言禁止」などのルールを大きく前に貼ったりしたら良いと思った。班別に班長や係などを決めることで、自分の責任を果たす力が子どもたちについたと思う。(後半は)学習時間に真面目に取り組む子が少なく、時間のむだを感じた。1日の出来事を日記として文字で書くことは難しいことだが、力になるので良いと思った。

つぶやき

異常なまでの猛暑日が続いた7、8月。「大津夜まわりの会」利用者の方々にとっても、非常に厳しい日々でした。そんな中、ホームレス状態やネットカフェ暮らしをしている人、家族間の問題で同居が困難な人等々、急を要する相談が次々と持ち込まれ、当会シェルターはフル回転。待機してもらったり、救護施設等を紹介せざるを得なかったりするケースが相次ぎました。それぞれの事情を聞くと、決して自己責任論で片付けられない背景があります。酷暑の中で安心して眠れる住まいがないとは、どんなに辛いことでしょうか。一刻も早く手を差し伸べたい。でも出来ることは限られ、もどかしさばかりが募る「2018年夏」でした。